

議 事 録

会 議 名	令和8年度第1回三芳町地域公共交通協議会（総会）
開 催 日 時	令和8年4月27日（月） 10時00分開会 10時53分閉会
開 催 場 所	三芳町役場5階501会議室
主宰者氏名	三芳町地域公共交通協議会
出席者	林会長、板谷副会長、西内委員、忽滑谷委員、照井委員、関根委員（リモート参加）、内田委員、藤田委員、廣瀬委員、鳥羽委員、古川委員（代理）、小谷野委員、山田委員、曾我委員、高橋委員、若林委員、井上委員、西山委員
欠席者	廣田委員
傍聴人	0名
事務局職員	政策推進室（室長、副室長、政策推進室担当主幹、主査）
<p>総会次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 令和7年度事業報告について 第2号議案 令和7年度歳入出決算及び会計監査報告について 第3号議案 令和8年度事業計画（案）について 第4号議案 令和8年度歳入出予算（案）について 第5号議案 循環ワゴン実証運行について 4 その他 5 閉 会 	
<p>結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 ・第2号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 ・第3号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 ・第4号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 ・第5号議案について事務局より説明し、原案のとおり承認を得た。 	
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度総会【議案書】 ・MIY0バス利用状況について 	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 令和7年度事業報告について

	第1号議案について、事務局より説明を行った。
議長	意見がなければ、第1号議案についてお諮りする。 (承認)
	第2号議案 令和7年度歳入出決算及び会計監査報告について 第2号議案について、事務局及び西内監査委員より説明を行った。
委員	地域公共交通確保維持改善事業補助金について返還した経緯を説明してほしい。 また MIY0 バスの実証運行事業については協議会の事業ではなく、町で行っている事業であるため協議会の予算決算に入っていないということによろしいか。
事務局	令和6年度の補助金であるが、国から入金されたのが令和7年4月であったため、令和7年度の返還金として町に返還した。補助金は令和6年度末に策定した地域公共交通計画策定費用に充てたものである。また、MIY0 バスの実証運行についての経費は町の事業であるため協議会ではなく町の予算としてとっている。
議長	他に意見がなければ、第2号議案についてお諮りする。 (承認)
	第3号議案 令和8年度事業計画(案)について 第3号議案について事務局より説明を行った。
議長	意見がなければ、第3号議案についてお諮りする。 (承認)
	第4号議案 令和8年度歳入出予算(案)について 第4号議案について事務局より説明を行った。
議長	意見がなければ、第4号議案についてお諮りする。 (承認)
	第5号議案 循環ワゴン実証運行について 第5号議案について事務局より説明を行った。
委員	A コースにおける西武バス(広域幹線)との接続改善は、利便性を大きく高める取組である。一方で、乗り継ぎ待ちの滞在時間が発生するため、バス停の環境整備が重要になる。理想としては屋根付きバス停の整備だが、困難な場合は県が推進している「バス待ちスポット」登録制度の活用を検討してほしい。
事務局	停留所付近で余裕があるスペースにおいて待合環境の整備を検討する。また接続

	を考えている停留所の目の前に商店があるため、まずはその商店へ「バス待ちスポット」の協力依頼を含め相談に伺いたい。
委員	GTFS 導入により、町外の来訪者が経路検索でバスを見つけやすくなるメリットがある。しかし、他市町村では「試合に向かう高校生 20 名が検索を見て一度に押し寄せ、7 人乗りの小型車両に乗れない」という事案が発生している。検索上の案内だけでなく、駅のバス停掲示等に「定員〇名（小型車両）」である旨を明記し、周知を徹底すべき。
事務局	指摘の通り、学生の大量乗車による積み残しは懸念される。駅の停留所に定員情報を目立つ形で表示し、周知の徹底を図る。
委員	無料乗り継ぎは利便性を飛躍的に高めるため、早期の実施を要望する。乗り継ぎ券の発行など方法は様々であるが、利用者が混乱しないよう、わかりやすい方法を検討してほしい。
事務局	なるべく早期の実施を目指し、運用の簡便さについても検討を進める。
委員	民間（ライフバス）は既に Google マップ等へデータを提供しているが、行政がデータを出す場合は、「データの定期的な更新体制」が鍵となる。古いダイヤが放置されると、利用者の信頼を著しく損なう。一度公開して終わりではなく、更新を確実にを行う体制をあらかじめ組織内に構築すべき。
事務局	データの維持管理には多大な労力を要することを調査段階で把握している。今後の大きな課題として、持続可能な管理体制を検討する。
委員	拠点の図面を見る限り、公共交通が敷地内にスムーズに乗り入れる余裕が不足していると感じる。駐車場を減らしてでも公共交通の利便性を高めるといった思い切った政策が必要。埼玉県内の先進事例である「ときがわ町せせらぎバスセンター」のように、全路線が同時集結し、すべての方向へ乗り継げる「バスとしての拠点」を目指すべきである。
事務局	建物本体の計画は概ね固まっているが、今後の駐車場整備の段階において、循環ワゴンのような小型車両であれば工夫の余地がある。開発担当部署に対し、乗り入れ面積の考慮について協議を継続する。
委員	現在「三芳町 バス」で検索すると、「MIY0 バス」と「町内のバス時刻表（ライフバス等）」のページが別々に表示される。初めての来訪者には不親切なため、1 つのポータルページへ情報を統合することを検討すべき。
議長	他に意見がなければ、第 5 号議案についてお諮りする。

	<p>(承認)</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none">・次回日程について説明を行った。 <p>5 閉会</p>
--	---